

2024 年度組織調査部報告
「CPAP 管理状況の実態調査」

アンケート回収率 49.2% (126/256 施設)

①「CPAP 管理をしていますか」

- ☐あり 108 施設 (86%)
☐なし 18 施設 (14%)

②「管理・対応者」

- ☐検査技師 病院 58% クリニック 48%
☐医師 病院 28% クリニック 31%
☐看護師 病院 5% クリニック 18%
☐工学技士 病院 5% クリニック 2%
*病院と比較してクリニックでは、看護師の
管理・対応者の割合が高い

③「CPAP 管理件数」

- ☐2000 件以上 病院 5% クリニック 15%
☐1000~1999 病院 11% クリニック 30%
☐500~999 病院 20% クリニック 20%
☐300~499 病院 9% クリニック 7%
☐100~299 病院 25% クリニック 15%
☐50~99 病院 9% クリニック 7%
☐49 以下 病院 21% クリニック 6%
*1000 件以上 病院 16% クリニック 45%

④「受診間隔の割合 (2018 年→2025 年)」

- ☐毎月 64.2%→43.2%
☐2 ヶ月 24.2%→33.2%
☐3 ヶ月 11.6%→23.6%

*2018 年と比較し 2、3 ヶ月受診の割合が増加

⑤「CPAP 使用中のモード」

- ☐固定 病院 12.9% クリニック 22.1%
☐オート 病院 85.6% クリニック 72.7%

⑥「アルゴリズムを考慮した機器選択」

- ☐はい 病院 50.0% クリニック 35.0%
☐いいえ 病院 34.0% クリニック 48.0%

⑦「同一機種内でのモードの使い分け」

- ☐はい 病院 50.0% クリニック 54.0%
☐いいえ 病院 34.0% クリニック 37.0%

⑧「遠隔モニタリングを活用していますか？」

- ☐活用している (2018 年→2025 年)
全体 46.4%→88.6%
病院 46.0%→88.0%
クリニック 47.0%→89.0%

⑨「遠隔モニタリング：活用目的」

*初期フォロー、トラブル早期発見)) に加
えて、モニタリング加算が増加

⑩「遠隔モニタリングの確認項目」

- ☐使用頻度、時間
病院 100% クリニック 100%
☐圧・リーク
病院 91.8% クリニック 92.3%
☐デバイス AHI
病院 95.9% クリニック 100%
☐フロー波形
病院 28.6% クリニック 30.8%

⑪「遠隔モニタリングのタイミング」

- ☐導入 7 日以内
病院 38.8% クリニック 46.2%
☐1 か月後
病院 30.6% クリニック 30.8%

【遠隔モニタリングを活用していない施設】

12 施設 (9.5%)

内訳：病院 7 施設、クリニック 5 施設

⑫「遠隔モニタリングを活用していない理由」

- ・主なもの：労力、マンパワー不足、
管理件数が少ない、必要ない
・CPAP が対応不可 病院：14.3%

⑬「今後、遠隔モニタリングを活用したいか？」

- ☐活用したい 46.2%
病院 2018 年 63.2% 2025 年 42.9%
クリニック 2018 年 52.6% 2025 年 40.0%

⑭「困っていること」

- ・通信エラー、管理ソフトの操作性、
人員不足、未受診
など

2018 年と比較し、CPAP を 1000 件以上管理
している施設が増加した。(2000 件以上:9%)
CPAP 管理数の多い施設ほど、遠隔モニタ
リングを活用している。限られた人員で多数の
CPAP を管理するためには、遠隔モニタリン
グ+複数月受診を効果的に運用している傾向
がある。

ご協力ありがとうございました。